

## 臨床研究「4次元心エコー図法による左房機能評価」について

筑波大学附属病院循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。  
本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の目的

心房細動は加齢とともに発症リスクが増加する不整脈疾患であり、我が国においても高齢社会を背景にその罹患率は増加の一途を辿っております。心房細動の二大合併症は心不全と心原性塞栓症ですが、いずれも左房機能の低下がその発症に強く関わっていることが知られています。また左房の大きさや機能は、一般人口においても心血管疾患の発生予測に有用な指標であることが知られております。そのため、左房機能を正確に評価することは重要と考えられますが、従来は2次元心エコー図法により評価が行われており、心時相により形態が変化する立体構造物である左房の評価法としては限界があると考えられてきました。近年、心エコー診断装置の技術革新により、3次元画像に時間軸の変化を加えた4次元画像を簡便に取得することができるようになり、そこから詳細に左房機能を解析することが可能となりつつあります。

本研究において、4次元心エコーを使用した左房機能のより正確な評価法を確立することにより、将来的には様々な患者さんの心血管イベントの予測指標として役立つ指標を見出すことができる可能性が考えられます。

### ② 研究対象者

2019年4月1日から2021年3月31日までに当院で経胸壁心エコー図検査を受けられる患者さん

### ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2022年3月31日まで

### ④ 研究の方法

本研究の対象となる患者さんは、临床上の必要性により当院で経胸壁心エコー図検査を受けられる患者さんです。通常の検査、診療記録から得られる情報を登録し、解析させていただきます。

### ⑤ 試料・情報の項目

検査画像および診療記録から下記の項目を調査します。

- ・基本項目：性別、年齢、身長、体重、血圧、脈拍、併存疾患の有無など。
- ・経胸壁心エコー図指標：左房サイズ・機能、左室サイズ・機能、右室サイズ・機能、ドプラ法による血行動態指標、弁膜症の有無とその重症度など

### ⑥ 試料・情報の第三者への提供について

行いません。

### ⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学循環器内科 助教 町野智子

### ⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場

合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：筑波大学附属病院 循環器内科（講師 石津智子，助教 町野智子）

電話： 029-853-3143（循環器内科医局 対応可能時間 平日 9:00～17:00）

FAX： 029-853-3227